

## 「今日も元気だよ」大作戦

～学校保健活動の充実を目指して～

鹿屋市立大始良小学校  
養護教諭 野間博美

### 1 はじめに

本校は、鹿屋市街地の南方台地に位置し、周りを美しい樹木や花々に囲まれた豊かな環境にあり、全校児童338名、職員28名の中規模校である。

保健室経営のテーマを「今日も元気だよ」とし、すべての児童が「学校は楽しい」と笑って言えることを目指し、養護教諭として専門的立場から組織的な学校保健活動の充実に努めている。

### 2 学校教育目標と学校保健活動の推進

本校の学校教育目標は「やさしさとたくましさをもち、進んで学び、自らの可能性を広げていく子どもを育成する」である。重点目標として「思いやりの心を育てる」「学ぶ意欲を育てる」「健康への自信を育てる」を掲げている。この学校教育目標の達成のために保健室経営目標を「児童が自分の健康生活に関する諸問題を発見し、改善できるよう指導の充実を図る。」とし、学校教育活動全体を通して、日常における「主体的・対話的で深い学び」を大切にしながら、児童の実態に即した実践を推進している。

### 3 児童の実態

子どもたちは、元気いっぱいに過ごす反面、保健室来室者が毎日絶えない。危険予知能力不足によるけがの他、基本的な生活習慣の確立が不十分だったり、友達やまわりの仲間たちとの関わりがうまく構築できなかったりすることが原因で、心や体の不調を訴えて来室する児童もいる。事例ごとの対処・対応も大切にしながら、積極的な予防的教育の推進に努め、児童自ら自己の健康に興味・関心をもち、

主体的に仲間とともに健康な生活を送ることができるようになっていくことが必要である。

### 4 課題解決のための具体的取組

#### (1) 学校保健委員会の充実

学校保健委員会を軸として家庭や地域・関係機関との連携を図り、学校保健活動の充実に努めている。テーマを「今日も元気だよ大作戦～基本的な生活習慣の確立～」とし、定期健康診断結果や保健室来室状況、「今日も元気だよ」チェックシートの調査結果や職員からの評価などの報告を多面的・多角的に伝えている。それを基に課題解決に向けて、保護者主体のテーマ設定と具体的な取組の決定につなげることができるようワークショップ形式で協議を行っている。

また、児童代表の発表や学校医からの指導助言なども含め、学級PTAでの保護者による報告を行うことで全体への周知・啓発に努めている。



〔グループ討議の様子〕



〔児童の発表の様子〕

#### (2) 児童の主体的活動

保健委員会活動においては、児童同士の話し合い活動を充実させ、児童が自主的に活動すること、体験的な活動をはじめとする協同的な学びにつなげていくことを大切にしている。「学習中における姿勢」「けがの予防」などの学校生活に起因する諸課題について自分との関連を明確にしながら、見通しをもって仲間と取り組み、実践を振り返りながら改善や解決につなげている。具体的には、保健委員会の活動を進める中であまり改善が見られなかった「けがの予防」について着目した。学校生活の向上に向けて、各委員会ごとに「けがの予防」に

ついて考え、それぞれの委員会の特色を生かした実践項目を決めて取り組むことを提案した。委員長会議等を自主的に行う中で、生活新聞委員会が「廊下歩行調べ」や「賞状作成」、運動委員会が「安全に楽しく遊べる活動紹介」などを行った。その後、児童総会で共通実践事項を決めて全児童で取り組んだ。児童保健委員会では引き続き、共通実践事項の取組状況の振り返りをしたり、新たな呼びかけを行ったりしている。



〔分散型児童総会〕



〔保健委員会動画〕

### (3) 職員との連携

ア 効果的な職員研修の実施

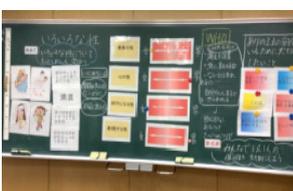
イ 「職員用保健だより」の発行

ウ 学年会への参加(情報交換・打合せ)

### (4) 健康教育の充実

喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導や性に関する指導については、指導強調月間を設定し、養護教諭と担任によるTTでの保健指導の実施や掲示物等による啓発活動を行っている。保健指導では、アクティブラーニングのための指導方法の工夫としてケーススタディやグループ討議等を取り入れたり、講師招聘や関係機関との連携に努めたりしている。教科との関連(横断的取組)では、各教科や人権同和教育との関連性をもたせた指導を県民週間の期間に行い、保護者の健康教育への周知徹底にも努めた。

また、授業実践前後の保護者への情報発信として保健だよりや学校Twitter・学校だより等も活用している。



5年生 [いろいろな性]



1年生 [おへそのひみつ]

### (5) その他の課題に即した保健活動の推進

ア 安全指導

(ア) 校内災害報告書の作成と回覧

(イ) KYT自作動画の作成と指導

イ 感染症予防

(ア) 積極的な保健指導の実施や手洗いタイム、消毒タイムの実施

(イ) 健康観察フォームの作成と効果的な活用による適切な健康管理

(ウ) 感染症予防のための自作動画の作成と指導

ウ 心の教育

(ア) スキンシップデーの実施

(イ) 毎月第3週健康相談週間の実施

(ウ) 確実な健康観察の実施と児童理解

(エ) 生徒指導部との連携

## 5 成果と課題

### (1) 成果

○ 保健指導や委員会活動等、様々な場で児童の主体的・対話的で深い学びを行うことで、児童の健康に関する意識の向上につながった。

○ 保健室の機能を生かしながら積極的な健康相談や広報活動を行うことで、学校保健活動に対する保護者の興味・関心が高まった。

### (2) 課題

○ 各教科や活動の特性を生かし、関連性をもたせた実践を計画的に進めたい。

○ 児童の実態に応じた健康教育の実践を重ね多面的な評価を得ながら、家庭や地域と連携した取組がさらに必要である。

○ 学習指導・生徒指導との連携を図りながら組織で行い、より効果的な学校保健活動の充実につなげる必要がある。

## 6 おわりに

「今日も元気だよ」と語り合える児童の心の輝きを求めて、今後も学校保健活動の充実を図っていきたい。